

# “けいはんな”発、元気企業

取材

けいはんな支所では、ビジネスマッチング等の財団事業の窓口として、地域内の企業をサポートしています。「けいはんな」発、元気企業シリーズでは、「けいはんな」で生まれチャレンジし続ける企業や他の地域からけいはんなに移転された元気な企業の代表者にお話を伺います。

## 生活やビジネスに役立つロボットを 誰でも簡単に素早く開発できる世界に

株式会社Keigan  
<https://www.keigan.co.jp/>



### モーターをロボット化するという新発想で製品開発



代表取締役 徳田 貴司氏

当社は、「Quick and Easy Robot for Everyone」を理念に掲げ、「人の役に立つロボットを驚くほど簡単に、かつ瞬時につくれる仕組みを多くの人に提供すること」を目的としています。

2014(平成26)年、私が総務省の「異能vation」プログラムに採択された研究の中で「モーターモジュール<sup>®</sup>」を開発したのが始まりです。そこから「モーターにソフトウェアを搭載してロボット化する」というこれまでにないコンセプトのデバイス「KeiganMotor」を開発。これを製品化するべく、2016(平成28)年に当社を設立しました。

「KeiganMotor」は、高性能モーターにコントローラーや無線モジュール、センサーなどを一体化。動作を記憶・再生したり、スマートフォンからの通信で複数のモーターを動かしたり、自分で動作をプログラミングすることも可能です。しかも5VのUSBバッテリーで2kg以上を持ち上げるパワーを発揮します。これを使えば、専門知識のない人でも簡単かつ迅速にロボットを作ることができます。

当初は一般向けに製品化しましたが、現在は企業のお客さまからの注文が増加。ロボット試作や実験をはじめ幅広い用途に使われています。デバイスはもちろんソフトウェアの開発も手がけること



モーターモジュール<sup>®</sup>  
KeiganMotor KM-1U

を強みに、多様なニーズに対応する新製品を次々と開発しています。ウェブブラウザを経由して簡単に遠隔操作ができるテレプレゼンスロボット「KeiganHATO」もその一つ。2021(令和3)年春には、自律移動ロボット「KeiganAMR」の発売も計画しています。



KeiganHATO テレプレゼンスロボット

### KICKのメリットを活かし事業拡大を図る

事業規模を拡大するべく、2019(平成31)年にKICKに移転しました。広いオフィス・製造スペースに加え、京都府の共同利用施設「けいはんなロボット技術センター」や、イベント・展示スペースを利用することもメリットに感じています。

今後はFA(ファクトリーオートメーション)向けに販売を強化しつつ、レストランや医療・介護施設での配膳や看護・介護などのサービスロボット分野にも注力し、より多くの人に当社製品を提供していきたいと考えています。

### Company Profile

- 代表取締役・CEO/徳田 貴司
- 所在地/京都府相楽郡精華町精華台7-5-1  
けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)
- 設立/2016(平成28)年9月12日
- 事業内容/電気・通信機械器具、その他機械機器の製造及び販売、ソフトウェアの制作及び販売